

# 年頭のごあいさつ



情報発信に努め  
安全で住みよい活力ある  
まちづくりを目指して

厚真町議会議員

河村 忠治



ピンチをチャンスに  
変える行政運営を  
町民の皆さんと協働で

厚真町長

宮坂 尚市朗

町民の皆さん新年明けましておめでとうございます。

二〇〇九年の輝かしい新春を迎えることができましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年は、一時期に低温や日照不足がありました。が台風等の気象災害もなく、豊穡の秋を迎えることができました。

また、七月には北海道洞爺湖サミットが開催され、環境問題への世界的な取り組みが議論されたところでもあり、本町においてもさまざまな活動分野において環境にやさしい取り組みが求められております。

しかし、国際情勢ではテロ事件の発生や金融危機等、めまぐるしく変動する一年でありました。

特に、投機マネーによる原油高騰やサブプライムローン問題が発端とする金融危機等による世界同時株安、信用低下、消費低迷、景気、雇用の悪化等、日本経済をも揺るがす大きな波が押し寄せております。

工業立国である我が国では、経済活動の本格的な回復を目指すため、WTO交渉で自由貿易を大きく前進させようとしており、農業分野では、輸入農産物の関税に係る重要品目の設定等が大詰めを迎えるなど日本農業にとって予断を許さない情勢となっております。

また、燃油、飼料、肥料の高騰に加えて景気低迷による買い控えの影響を受け、農畜産物の市場価格が下落する等、将来の農業経営に大きな不安材料を抱える状況となっております。

このような中、昨年、国では第一次補正予算による「安心実現のための緊急統合対策」を決定し、燃油、肥料等高騰緊急対策を実施し、北海道においても独自対策を上乘せ実施することになりました。

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい平成二十一年の新春を、健やかに迎えのこと心からお慶び申し上げます。

日ごころは議会に対し、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、一年の世相を象徴する「今年の漢字」に「変」が選ばれましたが、八月に開催されました北京オリンピックでの道内勢の活躍、またノーベル賞に日本人四氏が選出されるなど明るい話題の一方で、経済の大変動、政治、気候、また物価上昇による生活の変化と、長引く不況の中、まことに厳しい一年であったように思います。今年への明るい変化に希望をつなげる庶民の願いがこもった「変」でもあるのではないのでしょうか。

本町におきましては、台風などの影響もなく、総じて平穏な一年ではなかったかと思えます。農作物も全般にわたって豊穡の秋を迎えることができました。なんとといっても、基幹産業である農業に活力が生まれなければ、本町の活性化は望めません。この点、昨年この成果は、天候に恵まれたことほもちろんですが、農家の皆さまをはじめ、それを支えて下さった方々の努力のためであり、出来秋をお喜び申し上げますと共に関係者皆さまのご尽力に対し、心から感謝を申し上げます。

国内経済を見ますと、世界的な原油、穀物価格の高騰により第一次産業など、価格転嫁が困難な立場にある生産者の活動は大きな打撃を受けており、加えて米国のサブプライムローンに端を発した世界的な金融危機は、日本経済にも大きな影響

た。

本町でも、この窮状を打破し安定した農業や水産業の経営を安定させるため、町独自の燃油・肥料高騰対策の支援事業も実施してまいりました。

また、消費低迷による商工業者の活力低下や生活者の経済的な安定を図る必要があることから、低所得高齢者の皆さんへ灯油購入費助成や消費の活性化を図り地元商店街の活力向上を図る各種の支援対策を進めてまいりました。

町民の皆さんから多くの期待が寄せられています。高速大容量通信基盤の整備は、厚真と上厚真の市街地を核に光ケーブルと無線方式でネットワーク化が進められており、本年の春ごろのサービス開始を目指していますが、生活や産業分野での利活用が広がることを願っております。

少子、高齢化時代にあつて地域の活力を維持するためには若年世代の移住や定住を一層進めることが求められており、新たな住環境の創出や高度情報基盤、働く場の確保を進めてまいりたいと考えております。

また、本町では、生産性の向上やコスト削減を図る大規模な農地基盤整備や国営の用水再編整備が進み、将来へ不安のない生産基盤の高度化が図られてきており、農業経営の一層の発展が期待されております。

本町を取り巻く厳しい経済情勢と地方財政削減の環境の下にあります。積極果敢に諸課題に取り組む、町のあらゆる資源を活かしながらピンチをチャンスに変える行政運営を町民の皆さんと協働して進めることを新年を迎える一年のスタートにあたって決意を新たにいたしました。

本年も町民の皆さんのご健勝ご多幸を心からお祈り申し上げます。

を及ぼし、わが国をはじめ、世界各国がその対応に苦慮しているところであります。

このような中、七月には、北海道洞爺湖サミットが開催され、主要国首脳らが二〇五〇年までの温室効果ガス半減の長期目標を共有することで合意いたしました。また、食料基地を標榜する我が厚真町にとりましても、「地球温暖化」は将来を展望する上で極めて重要な問題であり、今こそ、この豊かな環境を、いかに、次の世代に守り引き継いでいくべきか、現代に生きる私共に問われているところでもあります。

さて、地方の時代といわれて久しくなりますが、今後、地方分権改革の推進に伴い、議会が住民の代表機関として、果たすべき役割もますます重要となつてまいります。議会といたしまして、その責務を果たすと共により開かれた議会を目指して、さまざまな改革に取り組んでいるところであります。昨年十一月には第三回の議会報告会を開催し、町民皆さまのご参加を得て、議会や町政に対するご意見、ご提言をいただいたところであります。また、十二月定例会からは、懸案でありましたインターネットによる議会中継システムを町の地域情報通信基盤整備の一環として実施したところでもあります。

このように、今後ともさまざまな媒体による情報発信に努め安全で住みよい活力あるまちづくりを目指して町民皆さまの意思を反映するために積極的に取り組んでまいります。

どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。町民の皆さまのより一層のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。